

令和7年度 山梨県立塩山高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	「知・徳・体」のバランスのとれた教育活動を行い、望ましい人格の形成を目指す。
-----------	--

山梨県立塩山高等学校校長 石原 和也

本年度の重点目標	「確かな学力」の定着
	「しなやかな心」を持つ調和のとれた生徒の育成
	健やかな体の育成と安心・安全な学校づくり
	甲州市唯一の高校としての使命の自覚

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価													
本年度の重点目標		年度末評価(令和8年1月30日現在)											
番号	評価項目	自己評価結果 達成度 成果と次年度への課題・改善策											
1	「確かな学力」の定着	<table border="1"> <tr> <th>具体的方策</th> <th>方策の評価指標</th> </tr> <tr> <td>授業内容・指導方法の工夫</td> <td>授業アンケートの実施、相互授業参観の設定</td> </tr> <tr> <td>家庭学習の習慣の定着</td> <td>生徒自身の活動と自己評価</td> </tr> <tr> <td>学びの基盤となる読解力の向上</td> <td>授業アンケートの実施、シラバスの達成度の調査</td> </tr> <tr> <td>ICT機器を活用した個別最適化学習の推進</td> <td>授業アンケートの実施</td> </tr> </table>	具体的方策	方策の評価指標	授業内容・指導方法の工夫	授業アンケートの実施、相互授業参観の設定	家庭学習の習慣の定着	生徒自身の活動と自己評価	学びの基盤となる読解力の向上	授業アンケートの実施、シラバスの達成度の調査	ICT機器を活用した個別最適化学習の推進	授業アンケートの実施	<p>・授業の始めに目標を確認し、ICT機器を積極的に活用することで個別の学習と協働的学習が実現し、生徒が思考力、判断力、表現力を発揮して主体的に学習に取り組む内容は9割以上の生徒が肯定的な回答をした。ICT利活用は十分ではないが、教員全体にスキルを上げる意識が急速に向上している。</p> <p>・家庭学習や復習の機会について3年生は7割弱、1・2年生は9割以上の生徒が肯定的回答をした。</p> <p>・生徒が考えをまとめたり発表する機会を増やすことにより9割以上の生徒に思考力・表現力向上に好影響が出ている。</p> <p>・ICT機器の活用に関わ8割以上の生徒が肯定的だが、学年毎にばらつきがある。教職員を対象としたICT支援員との校内研修会実施と支援員との連携を強化した。</p>
		具体的方策	方策の評価指標										
		授業内容・指導方法の工夫	授業アンケートの実施、相互授業参観の設定										
		家庭学習の習慣の定着	生徒自身の活動と自己評価										
学びの基盤となる読解力の向上	授業アンケートの実施、シラバスの達成度の調査												
ICT機器を活用した個別最適化学習の推進	授業アンケートの実施												
2	「しなやかな心」を持つ調和のとれた生徒の育成	<table border="1"> <tr> <th>具体的方策</th> <th>方策の評価指標</th> </tr> <tr> <td>規範意識の養成と基本的な生活習慣の確立</td> <td>アンケートの実施と活動実績の検証</td> </tr> <tr> <td>福祉・ボランティア活動と環境美化活動の推進</td> <td>アンケートの実施と活動実績の検証</td> </tr> <tr> <td>教育相談の充実</td> <td>スクールカウンセラーによる定期的な教育相談の実施、校内研修の定期的な実施</td> </tr> <tr> <td>交通安全教育の推進</td> <td>アンケートの実施と活動実績の検証</td> </tr> </table>	具体的方策	方策の評価指標	規範意識の養成と基本的な生活習慣の確立	アンケートの実施と活動実績の検証	福祉・ボランティア活動と環境美化活動の推進	アンケートの実施と活動実績の検証	教育相談の充実	スクールカウンセラーによる定期的な教育相談の実施、校内研修の定期的な実施	交通安全教育の推進	アンケートの実施と活動実績の検証	<p>・挨拶や服装などの基本的な生活習慣を身に付けるよう努めていると答えた生徒が9割程度であり規範意識の定着が図られている。</p> <p>・地域でのイベント・行事や甲州市の福祉事業に積極的に参加した。</p> <p>・定期的な教育支援委員会実施に加え、必要に応じてケース会議を持ち、生徒の実態把握と対応について学校、市、医療機関が連携し組織として取り組んだ。支援等が必要な生徒に対してスクールカウンセラーによる教育相談を通じて丁寧に対応した。</p> <p>・バイク通学者に塩山教習所での実技指導を定期的に行い、全校生徒を対象とした交通安全講話を実施し、交通安全の意識を高めた。</p>
		具体的方策	方策の評価指標										
		規範意識の養成と基本的な生活習慣の確立	アンケートの実施と活動実績の検証										
福祉・ボランティア活動と環境美化活動の推進	アンケートの実施と活動実績の検証												
教育相談の充実	スクールカウンセラーによる定期的な教育相談の実施、校内研修の定期的な実施												
交通安全教育の推進	アンケートの実施と活動実績の検証												
3	健やかな体の育成と安心・安全な学校づくり	<table border="1"> <tr> <th>具体的方策</th> <th>方策の評価指標</th> </tr> <tr> <td>規則正しい生活習慣の定着を図るとともに、「自分で作るお弁当の日」を設けて食育の推進を図る。</td> <td>生徒自身の活動と自己評価</td> </tr> <tr> <td>職員の情報共有・連携体制を確立し、いじめや不登校のない学校づくりに努める。</td> <td>職員間の連携と情報の共有化、「報・連・相」の徹底</td> </tr> <tr> <td>危機管理マニュアルに沿った日常実践に取り組む。</td> <td>一斉メールシステムの構築</td> </tr> </table>	具体的方策	方策の評価指標	規則正しい生活習慣の定着を図るとともに、「自分で作るお弁当の日」を設けて食育の推進を図る。	生徒自身の活動と自己評価	職員の情報共有・連携体制を確立し、いじめや不登校のない学校づくりに努める。	職員間の連携と情報の共有化、「報・連・相」の徹底	危機管理マニュアルに沿った日常実践に取り組む。	一斉メールシステムの構築	<p>・食事の大切さや親への感謝の気持ちを育て「お弁当の日」の実施は9年目となり、定着を見ており報道もされ、本校発信の県外への好影響が期待できる。</p> <p>・定期的にいじめ実態調査を行い、懸念される事案には生徒指導部と学年が協働して対処する体制であり、問題解決に至った。</p> <p>・HP掲載に加え、BLENDIによる保護者周知ができた。生徒にはTeamsにより連絡事項の周知ができた。</p>		
		具体的方策	方策の評価指標										
規則正しい生活習慣の定着を図るとともに、「自分で作るお弁当の日」を設けて食育の推進を図る。	生徒自身の活動と自己評価												
職員の情報共有・連携体制を確立し、いじめや不登校のない学校づくりに努める。	職員間の連携と情報の共有化、「報・連・相」の徹底												
危機管理マニュアルに沿った日常実践に取り組む。	一斉メールシステムの構築												
4	甲州市唯一の高校としての使命の自覚	<table border="1"> <tr> <th>具体的方策</th> <th>方策の評価指標</th> </tr> <tr> <td>一人ひとりの進路目標の実現を図る</td> <td>アンケート及び進路実績の検証</td> </tr> <tr> <td>保護者や地域、中学校等との連携を深め、様々な交流を推進する。</td> <td>授業公開・出前授業の実施</td> </tr> <tr> <td>HPや学校だよりを充実させ、教育活動や生徒の取組状況を積極的に発信する。</td> <td>HPの定期的更新、地域や中学校への広報活動</td> </tr> <tr> <td>ワークライフバランスを図り、継続的に業務改善・授業改善を推進する。</td> <td>アンケート及び出退勤調査の活用</td> </tr> </table>	具体的方策	方策の評価指標	一人ひとりの進路目標の実現を図る	アンケート及び進路実績の検証	保護者や地域、中学校等との連携を深め、様々な交流を推進する。	授業公開・出前授業の実施	HPや学校だよりを充実させ、教育活動や生徒の取組状況を積極的に発信する。	HPの定期的更新、地域や中学校への広報活動	ワークライフバランスを図り、継続的に業務改善・授業改善を推進する。	アンケート及び出退勤調査の活用	<p>・進路指導が適切に行われているという回答が生徒、保護者ともに9割超であり、進路指導が一定の成果として表れることとなった。</p> <p>・HPの更新は日常的に頻繁になされており、学校の教育活動、生徒の取組み等をより発信できた。商業科のビジネス探究プログラムは2年目となり、継続的な検証を要するが、生徒に学ぶ意義について好影響を与えている。学校紹介動画は、出演生徒が卒業を迎えることから、新たな広報事業を検討する必要がある。引き続き本校の魅力や学校としての取組みを積極的に発信する必要がある。</p>
		具体的方策	方策の評価指標										
		一人ひとりの進路目標の実現を図る	アンケート及び進路実績の検証										
保護者や地域、中学校等との連携を深め、様々な交流を推進する。	授業公開・出前授業の実施												
HPや学校だよりを充実させ、教育活動や生徒の取組状況を積極的に発信する。	HPの定期的更新、地域や中学校への広報活動												
ワークライフバランスを図り、継続的に業務改善・授業改善を推進する。	アンケート及び出退勤調査の活用												

学校関係者評価	
実施日(令和8年2月5日)	
評価	意見・要望等
3	<p>・ICTの利活用等による授業改善を通じ、基礎学力の定着を重視した指導で進路希望に応じた学習支援体制が整っている。卒業予定者の進路状況からも、幅広い進路に対応できる力が養われていることがうかがえる。</p> <p>・学力差への対応や家庭学習の定着には引き続き工夫が必要である。</p> <p>・1コマの授業で、どれほど生徒が思考、判断、表現したかと考えると、授業改善に一層強く取り組んでほしい。</p> <p>・実社会においては、生成AIの導入により、日進月歩で周辺環境が変わってきている。そのような環境に後れを取らないように、高校生活のなかにもICTに係る知識を進化させ続けてほしい。</p>
4	<p>・挨拶や礼儀、地域活動への参加など、生徒の姿勢の良さが地域から高く評価されている。</p> <p>・学校行事や日常の指導をとおして、協調性や思いやりの心が育まれている。一方、個別支援体制のさらなる充実が課題でもある。</p> <p>・地域との交流事業について、今後も積極的な実施を望む。地域への愛着を持つきっかけとなることを期待する。</p> <p>・生徒が自ら考え、行動する機会を数多く作り、生徒の自主性や自律性を育ててほしい。</p> <p>・校訓「和敬・叡知・創造」、学校の経営方針等に則り、今後も生徒の育成に努めてほしい。</p>
3	<p>・健康教育や安全指導、防災体制が計画的に実施され、生徒の健康意識、安全意識は高い水準にある。安心して学べる学校環境が整備されている。</p> <p>・「お弁当の日」はとても良い行事だと思う。継続をお願いしたい。</p> <p>・意欲的な取り組みが数多く実施されている。継続した積極的な取組を期待したい。</p> <p>・いじめ(ハラスメント)絶対的に対策と原因究明を講じる必要がある。</p>
3	<p>・生徒が地域の一人としての自覚を持ち、地域からも信頼される存在となっている点は大きな成果である。</p> <p>・地域と連携した取り組みを通して、生徒の地域理解や郷土意識が育まれている。今後は学校の取組や成果をより積極的に発信していくことが求められる。</p> <p>・学びたいと思う子供たち、子どもを塩山高校で育てていきたい保護者の願いや期待、甲州市唯一の高校としてさらなる飛躍、子供たちの健やかな成長を期待する甲州市民の思い、それらをしっかり受け止めて今後の学校の教育活動の展開に取組んでほしい。</p> <p>・学校の素晴らしい実践について、戦略的広報を期待したい。</p> <p>・アンケート結果から、よくなっている項目とそうでないものを分析し、一層の改善につなげることが学校全体の取組向上、価値の向上につながると思う。</p>

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。